

# 絆

泉山長老  
俊朝

京都第一日赤だより

き

ず

な

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、  
患者さまにとって安心できる  
適切な医療を行ないます。

新春号

2012年2月発行

vol. 45



昨年は東日本大震災に象徴されるように国内のみならず世界中で大きな自然災害が起こりました。未だ復興途上でありますので例年のような新年のご挨拶は控えさせて頂き、まず犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りし、昨年を代表する漢字が小誌と同じ「絆」であったのも何かの因縁かと思い、復興に向けご苦労なさっている皆様方と赤十字の医療機関として出来るだけの連携をしていきたいとの決意をお伝え致します。

このような状況の中ではありますが、本院は新しい時代に対応すべく昨年から取り組んでいる第二次改築工事が予定通り進捗しております。最初に完成する病棟部門は8月末には引き渡しを受け、出来るだけ迅速

に移動し、新たな施設をフル稼働させたいと思っております。新棟には検査部、放射線科部、リハビリテーション部、透析部門が全面移転するとともに重症病棟、小児病棟を含む4病棟、さらに出入り口を一般患者とは完全に分離し、独立した形で運営し、超音波検査や内視鏡検査等も含め全てがワンフロアで完結する健診センターが入ります。駐車場の完成までにはまだ3年余の長い期間が必要ですので、皆様方にもまた暫くの間ご迷惑をおかけ致しますが、本年も変わりませずご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

京都第一赤十字病院 院長 依田 建吾



# 耳鼻咽喉科の特徴と取り組み

耳鼻咽喉科部長 高木 伸夫

耳鼻咽喉科が担当する領域は、耳、鼻、咽頭、頸部の部位に当たります。そしてこの範囲には聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚などの感覚器や、発声、嚥下などの重要な働きが含まれます。われわれ耳鼻咽喉科医は、これらの領域の腫瘍や炎症、また聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、音声、嚥下などの機能障害などの診察、診断、治療をしています。

当科の特徴は年間約600 件を超える手術治療であるといえます(表1)。そしてその手術内容は耳鼻咽喉科・頭頸部領域のすべてをカバーしております。

## [鼻・副鼻腔外来]

慢性副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎(肥厚性鼻炎)は、鼻内内視鏡手術を中心に手術治療を行っております。慢性副鼻腔炎のみならず、副鼻腔の腫瘍や嚢胞、眼窩内側骨折などにも手術加療を行っております。

また、通年性アレルギー性鼻炎や花粉症に対し、日帰り手術として下鼻甲粘膜炎焼灼術(コプレーター手術)も積極的に行っております。

## [頭頸部腫瘍]

当科は日本耳鼻咽喉科頭頸部がん専門医制度指定研修施設であり、暫定指導医1名(高木)と頭頸部がん専門医1 名(松井医長)を中心に咽頭癌、咽頭癌から甲状腺腫瘍、唾液腺腫瘍などの治療を行なっています。

進行癌に関しては集学的治療を中心に、手術に関しては再建手術の進歩により拡大手術が可能となった為、外科、形成外科などと共同で実施するケースも出てきています。

また、近年NBIなどの医療機器の進歩にて下咽

頭癌の早期発見が可能となり、消化器内科と共同に内視鏡的咽喉頭手術(ELPS)などを行い、臓器・機能の温存を目指した治療も行なっております。

そして、慢性扁桃腺炎をはじめとした扁桃腺手術や咽頭形成術などの鼾・睡眠時無呼吸症候群の手術や、声帯ポリープや声帯結節などの喉頭微細手術、嚥下機能障害に対する手術加療も積極的に取り組んでおります。



後列左から：森田看護師 山本副部長 松井医師 浅霧看護師 吉村看護師 金山看護師  
前列左から：長谷川検査技師 高木部長 為野医師 竹中医師



(表1)平成22 年の主な耳鼻咽喉科手術件数

|            |       |
|------------|-------|
| 鼓室形成術      | 127 件 |
| 鼓膜形成術      | 18 件  |
| アブミ骨手術     | 10 件  |
| 外耳道形成術     | 2 件   |
| 聴器腫瘍手術     | 1 件   |
| 先天性耳瘻孔摘出術  | 10 件  |
| 中耳腔チューピング  | 38 件  |
| 鼻内内視鏡手術    | 76 件  |
| 鼻中隔矯正術     | 70 件  |
| 粘膜下鼻甲介骨切除術 | 32 件  |
| 下鼻甲粘膜炎焼灼術  | 16 件  |
| 鼻・副鼻腔腫瘍手術  | 13 件  |
| 口腔腫瘍手術     | 29 件  |
| 下咽頭腫瘍手術    | 6 件   |
| 喉頭腫瘍手術     | 25 件  |
| 喉頭微細手術     | 17 件  |
| 甲状腺腫瘍手術    | 34 件  |
| 耳下腺腫瘍手術    | 18 件  |
| 顎下腺手術      | 7 件   |
| 副甲状腺腫瘍手術   | 1 件   |
| 口蓋扁桃摘出術    | 91 件  |
| アデノイド切除術   | 64 件  |
| 咽頭形成術      | 6 件   |

近年の医療技術の進歩はめざましく、各領域、各疾患の診断および治療の技術も専門分化しております。当科でも耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患全般においてできるだけ最新の医療を提供できるように各専門のエキスパートを診療スタッフとして診療に取り組んでいこうと考えておりますので、今後ともご紹介の程、よろしくお願い申し上げます。





# ひとりじゃない



昨年は大変な年でしたが、皆様方におかれましては如何お過ごしでしょうか？ おかげさまで当院は改築工事もほぼ予定通り進んでおり、すっきりした建物に生まれ変わる日も遠くなさそうです。しかし昨年の地震で壊れた東北の街や人々の暮らし、心の傷が癒えるにはまだまだ時間がかかりそうですし、原発の問題も何となく先送りされているだけでなかなかすっきりした気持ちにはなれません。ただ被災された方が助け合いながら頑張っている姿や、全世界から差し伸べられた温かい支援には、心が熱くなりました。

そこで、今日のテーマは「本当の強さは一人じゃないって言っていえること」です。実はたまたま復興支援の動画で紹介されていたシンガーソングライターの山下達郎さんの「ずっと一緒に」という曲の一節からのパクリです。

先日看護学校の講義で、「中国2歳女児のひき逃げ事件」の映像を題材に使いました。昨年ニュースやインターネットの動画サイトでも話題になったのでご存知の方もおられると思いますが、ひき逃げされた女の子の横を十数人の人が通りながら、誰も手を差し伸べず、最後は別の車にひかれてしまった事件です。講義の内容はともかく、大災害に直面した我国の人達を見る限り、目の前で倒れている女の子を助けない人がいるとは思えません。こればかりは、最近いろんな分野で少し沈んで見える日本ですが、経済や政治とかとは別の次元

で、日本の本当の強さって実はそんなところにあるのではないかと感じました。

そして、それは被災者の方々だけでなく身近な患者さんや我々にも言えることでしょう。

医療を受ける側も、提供する側も「一人じゃない」と自信を持って言えるような地域の先生と密着した病院の在り方が必要です。そのためには患者さんからも、紹介していただく先生方からも信頼される診療レベルを維持していなくてはなりません。実はこの「絆」の創刊当初、当科紹介の際に、ほとんど最新設備はそろってないことを記載したおかげで(?)、気管支鏡も電子スコープとなり(光源は消化器センターのお古ですが...)、高周波治療装置も外科が肝切用に使っていたものを破棄すると言うのでもらい受け気管支鏡専用とし、念願の気管支超音波内視鏡装置(購入当時関西では2台目といわれる最新機種!)もそろえていただきました。空気だらけの肺で超音波をどうやって使うのかと疑問に思われる方もひょっとしたらおられるかもしれませんが、のでちょっと説明させていただきます。一つは縦隔・肺門リンパ節を気管支壁に水を満たしたバルンを押し付け超音波で確認(ドップラーで血管と区別)し、そのままガイド下に穿刺・吸引細胞診が可能なものです。縦隔リンパ節の経気管支生検は15年程前から行っていましたが、エコーガイドにより安全・確実に穿刺可能となったわけです。もう一つは気管支鏡の鉗子孔から細径プローベを



通し、レントゲン透視下に肺野末梢の腫瘍へ誘導し、エコーで確かに腫瘍に接触しているのを確認してから、シースを残しプローベを抜き去り、代わりに生検鉗子を挿入し目的部位で生検を複数回行うことが可能というものです。複数回生検することは組織診断を確実にを行うためにも重要ですが、近年肺癌治療では欠かせなくなった分子標的治療の適応を検討するため上皮成長因子受容体(Epidermal Growth Factor Receptor; EGFR)の遺伝子変異を見るために利用できます。同様に従来の細胞診も液状細胞診を利用し、病理検査によりがん細胞が陽性なのを確認してから遺伝子検査をオーダーすることが可能となりました(遺伝子検査は保険適応上、ひとつの癌に対して1回しかオーダーできませんので非常に有用です)。

ただ検査が複雑になるにつれて、術者以外に助手が数人いないと検査ができない状況になっており、いつも人手不足に悩んでいる当科としては、大きな声で「一人じゃない」と言えるようにすることが課題です。患者さんだけでなくご子息・お知り合いに当科と一緒に働いても良いというドクターがおられたらぜひ紹介していただきたいと思うこの頃です。

時の流れと共に医療の形態も変化していきませんが、目先の知識や技術習得も心がけながら、本当に大切なものを失わないようしなければと考えています。これからもよろしくお願い申し上げます。



呼吸器科部長  
平岡 範也

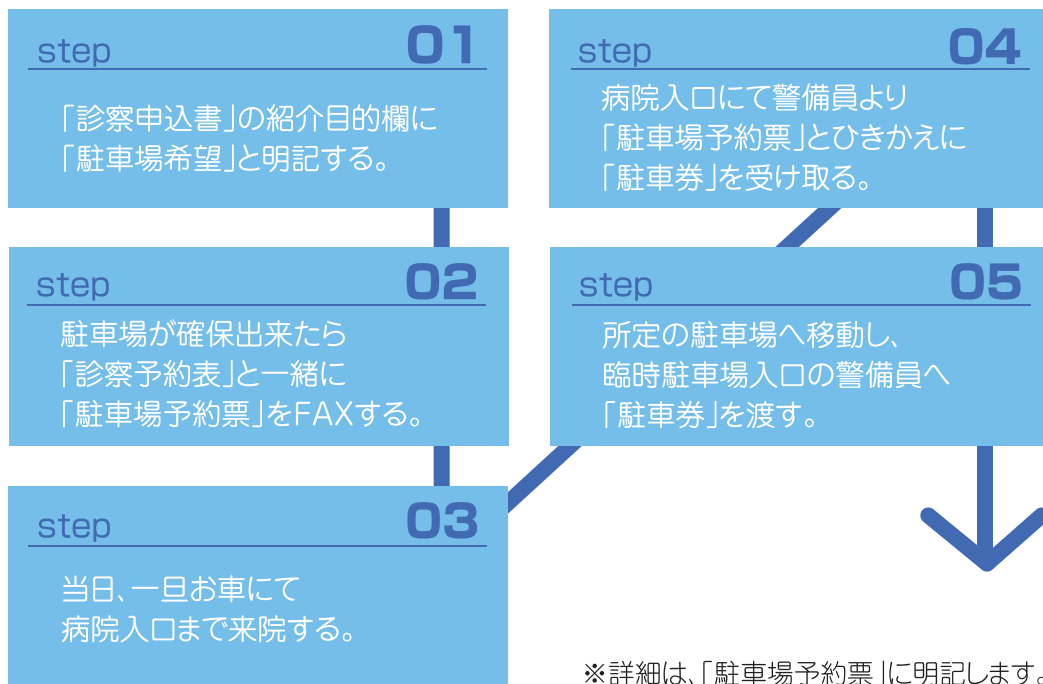


## 紹介患者様用 駐車スペースの運用について

当院の改築整備工事に伴い、ご不便をおかけし誠に申し訳ございません。2月より、駐車スペースにつきまして、院外の駐車場を利用した仕組みを運用させていただくことになりました。様々な条件がありますが、ご利用いただけるよう努めてまいります。  
また、本システムにつきましては、FAX予約いただきました紹介患者様のみを対象とさせていただきますので、出来るだけFAXにて事前予約いただきますよう併せてお願い申し上げます。

**対 象** 外来FAX予約患者（予約当日のみ）

### 申込方法



### 留意点

- ・駐車台数に限りがある為、駐車枠が無い場合はお断りする場合がございます。
- ・病院敷地外500mほど離れています（徒歩5分～10分）。
- ・駐車場のみの予約はできません。
- ・駐車時間は、8時から17時のみとなります（17時以降の駐車は出来ません）。

# Information

お 知 ら せ

## 各種講演会のご案内

標題の件について、以下のとおり開催いたします。  
たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

### 1 がんワークショップのご案内

- (1)日 時(予定) 平成24年6月21日(木)午後18時30分から
- (2)会 場 ホテルグランヴィア京都
- (3)テーマ 最新の化学療法

※詳細内容につきましては、決定次第、改めてご案内させていただきます。

### 2 京都第一赤十字病院健康教室

- (1)日 程 平成24年2月25日(土) 14時～16時
- (2)会 場 京都第一赤十字病院 大会議室(南棟4階)
- (3)テーマ ①乳がんのお話 乳腺外科部長 李 哲柱  
②子宮けい癌とは? 子宮けい癌ワクチンとは?  
産婦人科部長 山田 俊夫

## 病院改築整備状況について



現在、順調に工事が進んでおり、C棟は8月末に完成する予定です。C棟が完成しましたら、正面玄関からのアクセスが可能となります。引き続き、管理棟が完成するまでは、ご不便をおかけいたしますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

# 連携室だより

巻末コラム  
22

旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

昨年は地域がん診療連携拠点病院として、5大がんの京都府統一様式の地域連携パスの使用を開始致しました。今後もパスをはじめがん診療の充実に取り組んでまいります。

また、昨年は東日本大震災が発災し、当院からも直後のDMATをはじめ救護班の派遣を行いました。今、震災から1年が経とうとしており、日本中のあちこちで様々な「絆」が生まれています。

当院も京都府基幹災害医療センター・地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院の役割を果たすべく地域の先生方・患者様との「絆」を深めていけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

地域医療連携室

## Access to Kyoto First Red Cross Hospital

## 当院へのアクセス



### 電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

### バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

### 車をご利用の場合

- 【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ
- 【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ
- 【京都駅付近から】… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

## 京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280  
FAX.075-533-1282